

令和6年度 学校評価書

幼稚園名： 焼津市立さつき幼稚園

幼稚園においては学校教育法及び学校教育法施行規則により学校運営の状況について評価を行い、その結果を公表することが義務づけられています。つきましては、本年度実施した保護者アンケート及び教諭自己評価をもとに作成した学校評価書を公表します。
＜評価方法＞ - 下記項目による保護者アンケート及び教諭自己評価を実施し、回答を点数化したのち、その平均点により総合評価を判定しました。 ※点数は左記のとおり＜A…そう思う（4点）／B…どちらかといえばそう思う（3点）／C…どちらかといえばそう思わない（2点）／D…そう思わない（1点）＞ - 項目1～20は保護者及び教諭が、21～45は教諭のみが回答しました。

	No.	項目	平均点
保護者・教諭 同一項目	園児の状況について	1 幼稚園に通うことを楽しみにしている。	3.7 /4
		2 安心して自分の思いを出し、元気に遊んでいる。	
		3 友達と一緒に遊び、友達と共に過ごすことを楽しんでいる。	
		4 遊びや集団生活に必要な『きまり』があることを知り、守ろうとしている。	
		5 様々な物事に興味、関心を示し、知的好奇心、思考力、感動する心が育ってきている。	
		6 自ら、好きな遊びを見つけて遊んでいる。	
		7 思いやりの気持ちや我慢する気持ちが育ってきている。	
		8 家族や幼稚園職員に挨拶をしている。	
		9 体を動かすことが好きになり、体力がついてきている。	
		10 園目標「明るく元気な子」に近づいてきている。	
	応保に護つ者への対応	11 幼稚園は子どもの成長の状況を保護者に伝えている。	3.6 /4
		12 幼稚園は保護者が子どもの成長に気づくための機会（参観日等）を作っている。	
		13 幼稚園は子育ての悩みや相談に、丁寧に対応している。	
		14 幼稚園は保護者同士が親しく交流できる場となっている。	
	に安つ全い対策	15 幼稚園は保育室、遊戯室、園庭等において園児が安全に過ごせるようにしている。	3.9 /4
		16 幼稚園は安全対策について園児及び保護者に知らせている。	
		17 幼稚園は地震や火災等の災害時の対応を明確にし、訓練等により園児が安全に避難できるようにしている。	
教諭項目	教育理念・保育観について	18 子ども一人一人の人権を尊重し、それぞれの長所を把握している。	3.9 /4
		19 教育要領に基づき子どもを保育し、適当な環境を与え、心身の発達を助長するよう努めている。	
		20 子どもの個々の発達段階に応じて、基本的な生活習慣を定着させるよう努めている。	
		21 保育の考え方について保護者と相違があった場合、その保護者の状況や考え方を受けとめたくうで説明するよう努めている。	
		22 個々の家庭環境が違うことを考慮したうえで、その子どもに適切な保育を考え、行っている。	
		23 幼稚園の教育は子どもの生涯にわたる人格形成の基礎を培う大切な役割を担っていることを認識している。	
		24 子どもの状況に合わせ、人的・物的な工夫をもって環境の構成を行っている。	
		25 子どもが思い切り遊ぶことができるように、子どもと一緒に体を動かしている。	
		26 一人一人の子どもに目を配っていたかを振り返り、自身の保育の課題を見つけている。	
		27 子どもが安心して自分の気持ちを伝えられるよう、子どもとの信頼関係を築く努力をしている。	
		28 時節に合った掲示物やコーナーによる室内環境作りに努めている。	
		29 子どもが快適に過ごせるよう保育室内を清潔に保っている。	
		30 子どもが自発的に保育室内の環境を整える（遊び用具や掃除用具の片付け等）ことを促す工夫をしている。	
		31 時間や提出物の期限を守っている。	
		32 明日の保育に向け環境、教材等の用意をしている。	
	援助指導に計画、園児理解、環境	33 幼稚園教育要領及び自園教育課程を基に、実態に合わせた指導計画を作成している。	3.7 /4
		34 子ども一人一人の実態（発達の状況や興味の対象等）を把握したうえで指導計画、週案を作成している。	
		35 子どもの意欲を誘うよう十分工夫した環境構成がされた週案を作成している。	
		36 支援を要する子どもに対し、その子どもに適した環境を準備し、具体的な対応をしている。	
		37 補助教諭がいる場合、両者の役割や子どもへの援助の方法等をよく話し合い、計画を立てて保育を進めている。	
		38 指導計画、週案と実際の子どもの状況、興味、関心が合っているか、という観点で自身の保育を評価している。	
		39 『園の教育理念、方針、目標』『自身の指導計画・週案の内容やねらい』を保護者が理解できるように説明することができる。	
		40 日々の保育が適切であったか判断し、適切でなかったと思われる点については、改善に向けた保育を計画し、実践している。	
		41 園長及び副園長・主任教諭は自身の立場を自覚し、他の職員の手本となるよう努めている。	
		42 園長及び副園長・主任教諭は園の運営についてお互いによく協力し、行っている。	

総合平均点数	総合評価（評価項目の達成及び取組状況）
4～3.1	A…十分達成されている
3～2.1	B…達成されている
2～1.1	C…取り組まれているが、成果が十分でない
1～0	D…取組が不十分である

総合評価	総合平均点数
A	3.8 /4

＜本年度の幼稚園運営の振り返り＞

・総合評価を受けての所感

総合評価でA評価をいただきうれしく思います。今年度は重点目標を「友達と関わりながら遊びを楽しむ子」とし、友達との関わりを意識しながら保育にあたりました。「幼稚園に通うことを楽しみにしている。」、「安心して自分の思いを出し、元気に遊んでいる。」の点数がいずれも高く、途中入園や外国につながる子も、着実に園目標「明るく元気な子」に近づいていると教師も保護者の皆様も感じていることがわかりました。〔安全対策について〕の点数も高く、環境整備等で保護者の皆様に協力いただきながら、事故やけがも無く1年を過ごせたことに感謝します。引き続き、幼稚園が園児にとっても保護者の皆様にとっても安全・安心な場所となるよう、教師は幼児理解に努め、子供の心に寄り添い、一人一人に合った丁寧な保育を心掛け、園と家庭が連携して子供の成長を支えていきたいと思います。

・本年度努力した点、改善した点

保護者の皆様の御協力により、不審者対策としての来園時の名札着用、インターフォンの使用が定着してきて、安心して園児の受け入れをしています。

園児数、職員数の少なさを生かして、遊びや行事の準備や片付けを子供と一緒にを行い、主体的に遊んだり活動したりできるようにしてきました。保育参観、園外保育など行事に関しては昨年に比べ親子で参加するものが増えましたが、親子での対話や関わりが生まれ、新たな一面の発見もあり、有意義な時間を過ごせたと思っています。運動会の競技を自分たちで進めようと子供たちが奮闘する姿を保護者の皆様が温かく受け止めてくださり、ありがとうございます。

野菜や花の栽培を通して園だけでなく家庭でも食育活動につなげたり、園内の自然環境を生かして心が動くような感動体験をしたりと、今しかできない五感を使った体験を重ねられるように心掛けました。園内外の環境を生かした活動や遊びを楽しむ、のびのびとした子供の姿をアンケートで認めていただき、うれしく思います。

1学期、2学期は園庭を走ったり、固定遊具に挑戦したりし、2学期、3学期は縄跳びやマラソンを継続して、体力づくりに努めてきました。

・苦心した点、反省すべき点

園児数減少に伴うPTA会員数の減少は、親子参加型に実施方法を変更しても従来のようににはできない行事もあり、行事を行うことの難しさを感じました。園単独では難しいものもあるので、内容や実施方法などの工夫を検討したいと思います。

今年度も毎月、子供の姿や保育を振り返り、ドキュメンテーションを作成し廊下に掲示していますが、保護者の皆様の目に触れる機会が少なかったため、来年度は子供がどんなふうに遊び、遊びを通してどんな力が育っているのかを、さらに知っていただけるよう工夫していきたいと思います。

＜来年度の幼稚園運営について（方針、重点内容、改善策等）＞

今年度は自分の好きな遊びを十分楽しみ、友達と一緒に遊びを楽しんでほしいと願い、重点目標を「友達と関わりながら遊びを楽しむ子」、研修テーマを「友達の遊びに興味をもつ子を育てる」とし、保育を進めてきました。年度当初は教師との関わりを求めることが多かった子供たちですが、少しずつ同じ場にいる友達にも興味をもち、関わる姿が見られるようになってきました。友達と関わりながらじっくり遊ぶことができるよう、来年度は研修テーマを「好きな遊びを見つけて楽しみ、友達との遊びに興味をもつ子を育てる」とし、「やってみたい」と思える遊び、教師も楽しめる遊びの環境を工夫するとともに、引き続き子供の遊びに共感し、人的環境として子供同士をつなげるような言葉掛けを大切に保育を進めていきたいと思っています。